

## 共感からファンの発見、

## そしてこれからは・・・

令和4年3月25日、安藤前校長の『校長室より』が「後ろ向きに考えがちなことの中に」の文章をもって幕を閉じられました。このコーナーを知ったのは、学校関係者であり、瑞浪北中学校の保護者である方との会話からでした。前任校のHPは作成上の不具合からなかなか更新できていない状況でした。その修復が終わり、自校のHPを更新し、他校のHPの更新状況や内容を見ていく中で、『校長室より』に出会ったのです。

様々な話題を取り上げられ、鋭い視点をもってご自身の考えを述べられる内容に共感を覚えることが幾多もありました。

その内容について前任校で話題にしていた時、毎日熟読される熱烈なファンの存在が明らかになったのです。その方は共感したり考えさせられたりした内容があれば、子供にも読ませていたそうです。私も安藤校長の許可を得た上で、抜粋して校長通信の中に掲載したことを覚えています。

とにかく、毎日継続されていたことに感服していましたが、ご本人に尋ねたところ、書くことに何の抵抗もなく、短時間でテーマについて仕上げられているとのことで、より尊敬の念を抱いたことを覚えています。

3学期末、数日に渡って更新されない状況を見たら、不自然さを感じて、身の回りに何かあったのではないかと心配感さえ抱くこともありましたが、いつの間にかその日数分、アップされていたことには驚かされました。

せっかくのこのコーナーを閉じてしまうのは忍びないですし、学校全体の状況や校長としての想いや考えを発信するには絶好の場所です。

ただし、安藤前校長のように、毎日アップしていくことは難しいと思います。時機を見て、また状況に応じてアップさせていただきます。

安藤校長の文章だから、毎日更新されていたからという想いから、ずっと見ていただいた方には申し訳ありません。

令和4年度のスタートにあたり、HPの更新が滞ったままではあまりにも残念なので、この場を借りて今後の方向まで示させていただきました。

令和4年度が始まりました。今年度は全校325人のスタートです。各学年の様子を見聞きする中で、それぞれの学年が自覚ある言動、さらには主体的な姿を示すことであります。そのことをすぐに価値付ける職員の動きもあります。また、その実態を踏まえ、学年目標が掲示してある学年もあります。

タイムリーさや先を見越した指導ができていることがスタートに当たって、とても嬉しいことです。生徒たちとともに、教職員も成長が実感できる学校になっていくことを目指します。

今年度も宜しく願っています。